

| | | | | | |
|----------------------|--|-------|--------------------------|-------|-----|
| 科 目 名 | 教育経営論 | | | | |
| 配 当 学 年 | 1 年 | 必修・選択 | 必修 | CAP制 | 対象外 |
| 授 業 の 種 類 | 講義 | 単 位 数 | 2 単 位 | 授業回数 | 15 |
| 授 業 担 当 者 | 宮嶋 衛次 | | 単位認定責任者 | 宮嶋 衛次 | |
| 実務経験の有無 | 有 | | | | |
| 実務経験のある教員名および授業の関連内容 | 教育経営について、学校現場での実態を取り入れながら講義を行う。 | | | | |
| 授業科目の概要 | 社会状況の変化が学校教育に与える影響・課題、それに対応する教育政策の動向を学び、現代公教育の意義・原理・構造に関する知識を身に付け、課題を学ぶ。学校や教育行政機関の目的など学校経営の視点から理解し、更に学校と地域との連携や学校安全への対応に関してその事例などグループワークを取り入れて行う。 | | | | |
| 授業科目の到達目標 | <ol style="list-style-type: none"> 1. 教育法令を踏まえ、必要な知識や理解を深め、教育課題について適切に考え判断できる。 2. 新聞を活用し、教育問題への関心を高め、教育課題を把握できる。 3. 文部科学省等のWEBPAGEを閲覧することを習慣化し、教育情報を収集できる。 4. 具体的な事例に基づく意見交換をとoshi、問題解決能力を身につけることができる。 5. 教員候補者選考にも対応できる実践的な能力を身につけることができる。 | | | | |
| 学修成果評価項目(%)および評価方法 | 項目 | 割合 | 評価方法 | | |
| | 基礎学力 | 15 % | 定期試験、小テスト | | |
| | 専門知識 | 25 % | 定期試験、小テスト、レポート、プレゼンテーション | | |
| | 倫理観 | 5 % | 定期試験 | | |
| | 主体性 | 15 % | レポート、プレゼンテーション、取組状況 | | |
| | 論理性 | 15 % | 定期試験、レポート | | |
| | 国際感覚 | 0 % | | | |
| | 協調性 | 5 % | プレゼンテーション | | |
| | 創造力 | 15 % | 定期試験、レポート、プレゼンテーション | | |
| | 責任感 | 5 % | 取組状況 | | |
| 授業の展開 | | | | | |
| 1. | 教育の制度の現況 | | | | |
| 2. | 公教育制度の原理・理念と教育基本法 | | | | |
| 3. | 教育行政の制度（1）教育行政制度と関連法規 | | | | |
| 4. | 教育行政の制度（2）学校管理の制度と教育行政の理念と仕組み | | | | |
| 5. | 教育行政の制度（3）教育制度をめぐる諸課題、教職員の服務 | | | | |
| 6. | 学校経営（1）意義と組織・学校管理規則 | | | | |
| 7. | 学校経営（2）校務分掌と学校組織 | | | | |
| 8. | 学校経営（3）学校評価とマネジメント | | | | |
| 9. | 学校経営（4）経営の仕組みと効果的な方法 | | | | |
| 10. | 学校経営（5）チーム学校 | | | | |
| 11. | 学校と地域の連携（1）教職員と学校内外の関係者・関係機関との連携・協働の在り方 | | | | |
| 12. | 学校と地域の連携（2）開かれた学校づくりとコミュニティスクール | | | | |
| 13. | 学校安全への対応（1）学校保健安全と食育 | | | | |
| 14. | 学校安全への対応（2）学校事故・危機管理、生徒指導 | | | | |
| 15. | 教育行政上の課題と解決方策 | | | | |
| 授 業 外 学 修 に つ い て | (1) 予習としては、前述の「授業の展開」で、その時間に学ぶ教育法規を確認し、後述の「参考文献」欄を参考に、事前に読んでおくこと。 | | | | |

| | | | | | |
|------------------------|--|---------|---------|--------------|-------|
| | (2) 復習としては、演習問題のうち自分が誤答した問題について、なぜ誤答したのか、正答を導きだす判断の根拠は何なのかを、配布資料を参考に整理することが必要です。大切なのは、暗記ではなく、判断力、思考力を養うことです。 | | | | |
| 教科書 | 使用しない。授業プリント及び演習問題を配布します。 | | | | |
| 参考文献 | (1) 総務省法令提供システム http://law.e-gov.go.jp (2) 文部科学省ホームページ http://www.mext.go.jp (3) 北海道教育委員会ホームページ http://www.dokyoj.pref.hokkaido.lg.jp/index.htm | | | | |
| 試験等の実施 | 定期試験 | その他のテスト | 課題・レポート | 発表・プレゼンテーション | 取組状況等 |
| | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 成績評価の割合 | 40 % | 10 % | 20 % | 20 % | 10 % |
| 成績評価の基準 | <p>本学の評価基準に基づき、成績評価を行う。</p> <p>秀（100～90点）、優（89～80点）、良（79～70点）、可（69点～60点）、不可（59点～0点）</p> | | | | |
| 試験等の実施、成績評価の基準に関する補足事項 | <p>【定期試験】</p> <p>教育法規をはじめ、教育経営に関する問題を出題する定期試験を行う。教科書の持ち込みは不可。</p> <p>【小テスト】</p> <p>教育法規の内容について、数回小テストを実施する。</p> <p>【レポート】</p> <p>講義内容について、数回レポートを課す。</p> <p>【プレゼンテーション】</p> <p>教育関連ニュースについてのプレゼンテーションを行う。</p> <p>また、教育関連用語について、プレゼンテーションを行う。</p> <p>【取組状況】</p> <p>講義中に行う発問やグループ協議等への取組状況について、主体性と責任感を評価する。</p> | | | | |

(教育経営論)